



代表取締役社長

秋川 正

株主の皆様へ

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。さて、当社第40期連結会計年度（2018年4月1日から2019年3月31日まで）の事業の状況につきまして、ご報告申し上げます。

Q 前期の連結業績についてお聞かせください。

まず売上ですが、主力の鶏肉と冷凍加工食品は順調に販売を伸ばすことができました。冷凍食品の第3工場は昨年春から稼働しましたが、早速その投資が活きる形となりました。一方、直販事業は通販事業を行う会社向けの販売減少により売上は減少、結果として全体の売上高は2.3%増となりました。

利益面につきましては、コスト面では飼料価格の値上がりや人手不足に伴う人件費増などのマイナス要因がありました。一方、課題であった若鶏及び鶏卵農場での生産成績の低下問題は秋には解決し、売上増の効果もあり、最終的に増益を確保することができました。



Q 現在の経営環境をどのように認識していますか？



▲赤どり農場の様子

景気回復の実感が少ないと言われる日本経済ですが、かつてのデフレの時代と比べれば消費者のマインドは随分上向いていると思います。その中で、オーガニック市場が日本においても成長期を迎えつつあり、これは明るいニュースです。一方、東京オリンピック後の景気悪化が今から懸念されています。より強い経営体質づくりをしっかりと進めていく必要があると認識しています。

業績の推移

主力の鶏肉及び冷凍加工食品の販売が好調に推移したことと、生産子会社における鶏肉の生産成績の改善等により、増収・増益となりました。

業績ハイライト

		第37期 ('15.4~'16.3)	第38期 ('16.4~'17.3)	第39期 ('17.4~'18.3)	第40期 ('18.4~'19.3)
売上高	(百万円)	5,231	5,399	5,498	5,623
営業利益	(百万円)	88	137	91	98
経常利益	(百万円)	87	142	128	130
当期純利益	(百万円)	53	99	85	135
1株当たり当期純利益	(円)	12.81	23.91	20.50	32.42
総資産	(百万円)	4,170	4,482	5,036	5,092
純資産	(百万円)	1,402	1,499	1,573	1,696

Q 秋川牧園のブランド強化の取り組みについてお聞かせください。

今年度はブランド強化の取り組みを昨年以上に充実させる一年にしたいと思っています。具体的には、会社マークと商品パッケージのリニューアルの準備を進めています。年度後半にはホームページをよりわかりやすいものに刷新します。商品面では、当社の素材を幅広く使い、おいしさにこだわった小ロットの惣菜製造チームの立ち上げを計画しています。

考えてみると秋川牧園は、①安心・安全な食のパイオニア、②お肉、卵、牛乳、野菜と生産品目の幅が広い、③さらに加工の分野も充実している、といったオンリーな特徴を持った会社です。その価値をより多くの消費者に伝え、秋川牧園のファンを増やしていくためにも、引き続きブランド強化の取り組みを重視していきます。



※同封している秋川牧園のたよりは、本来は消費者向けに作成したのですが、株主の皆様にも普段着の秋川牧園のことも知っていただければと考え、前回からお届けしているものです。お楽しみいただければ幸いです。

会社の概況 (2019年6月25日現在)

本社所在地 山口県山口市仁保下郷317番地
 設立 昭和54年5月25日
 資本金 7億1千4百15万円
 従業員 204名(グループ合計 269名)
臨時社員及びパート社員を除く
 上場証券取引所 東京証券取引所
 JASDAQ(スタンダード)

事業所

本社及び工場 山口県山口市仁保下郷317番地
 大阪事業所 大阪府茨木市太田1-1-25

役員

代表取締役会長	あき秋	かわ川	みのる貫
代表取締役社長	あき秋	かわ川	ただし正
取締役	か	い	とし利
取締役	申	斐	光
取締役	田	村	次郎
社外取締役	内	田	恭彦
常勤監査役	とく徳	みつ光	なか隆
社外監査役	え江	とう藤	たつ龍
社外監査役	宇	佐	美理